慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	都市職人のキャリア形成要因： 都心地域におけるバーテンダーの職業キャリアから
Sub Title	
Author	関, 駿平(Seki, Shumpei)
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2023
Jtitle	慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学： 人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.94 (2023.) ,p.111- 113
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	2021年度博士課程研究支援プログラム研究成果報告
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00069 57X-00000094-0111

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

都市職人のキャリア形成要因
都心地域におけるバーテンダーの職業キャリアから

関　駿平

1．研究概要／問題意識

本研究の目的は，技能や修練が必要でありながらキャリアルートが不明瞭な都市職人労働に着目し，都市職人がキャリアを積み重ねることができる環境的要因を明らかにすることである。本研究では具体的な対象として，東京都心地域に集中する「オーセンティック」とカテゴライズされるバー（以下 オーセンティックバー）を研究対象に設定した。オーセンティックバーは端的に言うと専門的知識や技術，接客スキルを用いて，酒を飲むシンプルな営業形態を行うバーを指す。

オーセンティックバーのバーテンダーは（例えば日本において「現代の名工」に選定されるなど）高い専門的知識と技術を併せ持ち，職人とカテゴライズされる専門職として位置づけることが可能である。さらに，オーセンティックバーは東京都心地域に店舗が集中しており，オーセンティックバーのバーテンダーも東京都心地域に集中している。以上の状況からオーセンティックバーのバーテンダーは都市職人労働と位置付けられる。職人労働は伝統的に義務教育後から長期的な師弟関係を築くモデルがあるが，このモデルは高学歴社会，非正規労働の増加，雇用の流動化などによって限界を迎え，文化の維持が危ぶまれている。この中で，バーテンダーは伝統的モデルとは異なる形で職人的技能の維持を可能としている。本研究ではこれを可能にする環境的要因を明らかにする。

本研究は主には文献研究と調査研究に分けられる。文献研究では，都市社会学／労働社会学の文献を中心に，都市労働や専門職労働，職人労働研究などのリサーチに加え，バーテンダーなどが執筆・刊行している伝記やバーテンダー協会などの資料から，バーテンダーのキャリアが読み取れる資料を探索した。調査研究においては，オーセンティックバーのバーテンダーを主に対象とし，これらに対してキャリア形成に関するインタビュー調査を行い，そのキャリア形成を可能にしている環境的要因を考察した。

2．調査概要

2021年4月～2022年3月の間に26名のバーテンダーに対し，1人につき2時間程度のインタビューを行った。インタビューでは主に，キャリアの経緯とその詳細について半構造化した質問項目を設定した。インタビュー場所はインフォーマント各々の都合に合わせ，勤め先の店舗，店舗近隣の喫茶店，近隣の他店舗のバーなどで話を伺った。本研究の対象設定に関しては，前記したようなオーセンティックバーの特徴を併せ持つバーテンダーの中から，幅広いキャリア経歴（現在経営者でもあるオーナーバーテンダー／経営者を別に持つがバーテンダーとして一番地位が高いヘッドバーテンダー／バーテンダーなど）を持つバーテンダーにインタビュー依頼を行った（詳しくは以下表1参照）。

本研究では，調査者が直接店に訪問する機会に調査を依頼したバーテンダーに加えて，直接依頼したバーテンダーからスノーボールサンプリングによって対象を抽出している（直接依頼15名，スノーボールサンプリング11名）。直接依頼をした店舗に関しては，インタビューをお願いする前に客として複数回訪問し，関係を築いた上で依頼を行った。

表1　インフォーマントの属性分布

性別	男性：22名　女性：4名
生年	1960年代生まれ：4名　1970年代生まれ：6名 1980年代生まれ：15名　1990年代生まれ：1名
最終学歴	高卒：8名　専門卒：11名　大卒：8名
店舗位置	中央区：12名　港区：7名　渋谷区：5名 豊島区：1名　墨田区：1名
店舗規模	大規模：10名　中規模：11名　小規模：5名
立場	オーナーバーテンダー：12名 ヘッドバーテンダー：5名 バーテンダー：9名

3.　調査結果

本研究の調査結果を「仕事への出会い」と「参入方法」に分けて提示する（以下表3参照）。元々バーテンダーという職業に全く関心がなかった人々は，表2に示した4つの方法でオーセンティックバーの世界に出会い，バーテンダーという労働に出会うことで入職への関心を持っていく。具体的には，(1) 客として出会う（常連客などに連れられて客としてオーセンティックバーで飲むなかで，関心を持つ）(2) オーセンティックでないバーで出会う（元々オーセンティックではない「カジュアル」とカテゴライズされるバーで，アルバイト労働に従事する中でオーセンティックバーのバーテンダーに出会い，関心を持つ）(3) 専門学校で出会う（観光・ホテルの専門学校などの授業カリキュラムの一部にバーテンダー労働が含まれており，関心を持つ）(4) メディアを通して出会う（テレビや雑誌，書籍などのバーテンダーに関する記述から，労働への関心を持つ）などの類型が確認できた。

表2　バーテンダーとの出会いの類型

出会いの類型	人数
(1)客として出会う	10名
(2)オーセンティックでないバーで出会う	8名
(3)専門学校で出会う	4名
(4)メディアを通して出会う	4名

しかし，以上のような出会いの機会によって実際に参入できるかどうかは別の問題である。オーセンティックバーは，就職活動のように公的な募集が行われることはなく，外部からはその入職へのルートは不明瞭となっている。実際には，人々は表3に示した3つの方法で，バーテンダーへの入職機会を得る。具体的には (1) ネットワークを活用する（自分の身の回りのパーソナルネットワークを駆使してオーセンティックバーを紹介してもらうことで入職機会を得る）(2) 直談判する（ネットワークに関わらず，自分の憧れる店に直接入職を申し入れる）(3) 大規模店舗に応募する（数少ない公募が出ているホテルバーや大規模オーセンティックバー店舗に応募することで入職機会を得る）などの類型が確認できた。

表3　オーセンティックバーへの参入の類型

参入の類型	人数
(1) ネットワークを活用する	9名
(2) 直談判する	4名
(3) 大規模店舗に応募する	ホテルバー：8名 大規模オーセンティックバー：5名

上記のように，本研究の調査によってバーテンダー労働へと関心を抱き，そして実際に入職するまでの実践を明らかにした。これらの実践には，東京都心地域という環境がもたらす以下のような要因が関連していると考えられる。それは，人々がバーテンダー労働に出会い，関心を持ってから実際に入職するまでの実践に関連する施設とオーセンティックバーの店舗が，東京都心地域において空間的に近接しているということである。これらの実践に関連する施設とは，具体的には，カジュアルなバーや，大規模なオーセンティックバー，ホテル（バー），大学／専門学校などがあげられる。人々は，必ずしもオーセンティックバーと関連のないこれらの関連施設での活動のなかから，オーセンティックバー労働への関心と入職機会を獲得しバーテンダーとなっていく。このような点で，上記のような近接性がオーセンティックバー労働において重要性を持つことが明らかになった。

この他にも，バーテンダー内部の文化的な慣例や，組織の中でのネットワーク，「東京」や「銀座」といった場所が持つ象徴的価値などが人々をバーテンダー労働に，特に東京でバーテンダー労働に従事する動機付けを得ている可能性が示唆される語りが確認されたため，今後も文献調査や追加調査を踏まえながら考察していきたい。

4. 研究業績

本研究によって得られた示唆は，すでに下記研究業績にて発表している。なお，現在投稿論文などは執筆／投稿中であり，下記業績に加えて複数の研究成果を公表予定である。

・（学会発表）関駿平，2021年9月，「都市職人労働の再生産と環境的要因――東京都心地域におけるバーテンダーのキャリア調査を事例に」，『日本都市社会学会』オンライン開催.

・（学会発表）関駿平，2021年10月，「専門職労働における初期キャリア形成要因――東京都心地域におけるオーセンティックバーを事例として」，『日本労働社会学会』オンライン開催.

・（書籍）関駿平2021，「やっぱり，止まり木なんですよ。鳥が飛んで，休む場所なんですよ」岸政彦編，2021『東京の生活史』筑摩書房.（分担執筆）